

33人の住まい手と考えた新しいインテリア術。

ジョージア・オキーフの家も。

# BRUTUS®

2017 5/15 特別定価 680円



記憶を重ねる部屋。



# 居住空間学 2017



クロイツベルク地区にあるククラの工房はオーナーの配慮で特別に安い家賃で借りている。

エンツォ・マーリの  
デザインした家具を、  
難民が製作、販売。

## Cucula

🇩🇪 Berlin

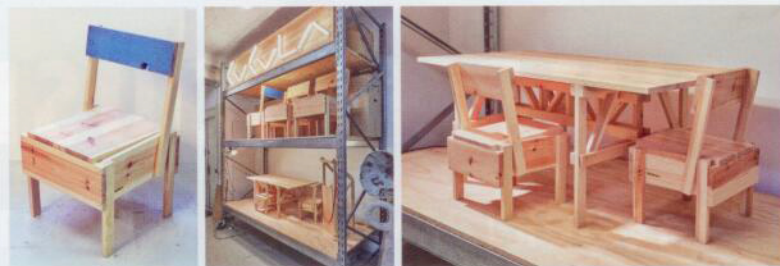
このプロジェクトの魅力は?

- 1 難民がモノ作りのスキルを学べる。
- 2 自らの労働で学費を稼げる。
- 3 それぞれの独立心を養う。



ククラ

現在は欧州のみでのオンラインショップ展開。週に1度、ショールームでも購入が可能。●Paul-Linke-Ufer 41 10999 Berlin。14時～17時。水曜のみ営業。https://www.cucula.org/news/



ククラとは西中央アフリカで話されるハウサ語で「何かを一緒にする」「お互いを気遣う」という意味がある。ここ数年の難民受け入れは、ベルリンの日常にも多方面で影響を与えている。そんななか、オラファー・エリアソンなど有名名人たちの支援を受け、2014年に有志がクラウドファンディングでスタートしたのがククラだ。木工工房で家具を作るプロジェクトで、難民たちが自ら自信を持って将来を見据え、自立できる方法を考えた職業研修の手本となる試みだ。

イタリア人デザイナー、エンツォ・マーリが1974年に出版した『アウトプロジェクトツィオーネ』は廃材と釘で誰もが簡単に家具を作れるというハウツー本。このプロジェクトは、その本をベースに難民たちが家具を製作、販売をするというもの。いまでは多くの反響を得て、事業予算の40%がセールスによる収益となっている。

言葉も習慣も違う場所で将来への不安が募る毎日を送る彼らにとって、働くことは独立心を養うことに繋がる。シリア、アフガニスタン、スーダン、ガーナと国籍もバックグラウンドも異なる人々が仕事を通して仲間にもなれる。ククラでの研修の後、進学や就職するメンバーもいて、ネットワークは広がってゆくだろう。

2016年には、36カ国1,000団体のなかから欧州ソーシャル・イノベーション賞を受賞したククラ。人の輪が繋がるポジティブな活動を心から応援したい。

◀◀VLLA▶▶  
Refugees Company for Crafts and Design

1 2 3

4 5 6

1 エンツォ・マーリ・デザインの椅子。2 期間限定のソリヤテーブル。3 子供用サイズ。4 スタッフたち。5 研修はすべてドイツ語で。腕も言語もスキルアップノ 6 わかりやすいインフォボード。